講義名称	健康論Ⅰ
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	2.0
科目群（区分）	専門展開
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	2年　前期
必修・選択	選択
卒業認定・学位授与の方針との関連	社会福祉学科（2）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部社会福祉学科	14204352

担当教員

氏名	所属
◎ 新口　春美	大学・人間社会科学部・社会福祉学科

授業概要	介護サービスの対象者を理解するうえで必要な基本的知識として、「発達と老化」について学びます。人間の成長・発達の基礎的な理解のために、命の誕生から死に至るまでの心身の発達や成長・成熟､生理的変化を自己の体験や身近な高齢者の体験と重ね合わせてイメージします。ライフサイクルの各期（乳児期・学童期・思春期・青年期・成人期・老年期）における身体的・心理的・社会的特徴と発達課題を理解し、各期における特徴的な疾病について理解します。
到達目標	1．ライフサイクルの各期における身体的・心理的・社会的特徴について基礎的な理解ができる。 2．ライフサイクル各期の発達課題が理解できる。 3．発達段階別の特徴的な疾病や障害が理解できる。

授業計画表

授業計画表

第1回	【授業計画】 人間の成長と発達の基礎的理解①　成長・発達・成熟・老化の概念の復習。		
	【事前事後学修の内容】 人間の成長と発達について「生活とこころとからだ」「こころとからだのしくみ」から復習する	【事前事後学修時間（分）】 30	
第2回	【授業計画】 人間の発達と老化の基礎的理解②　老化とは		
	【事前事後学修の内容】 「老化について」教科書を読みその機序について予習する	【事前事後学修時間（分）】 60	
第3回	【授業計画】 発達段階と発達課題①　発達理論　自分の育った環境と発達（ワーク）		
	【事前事後学修の内容】 エリクソンの発達理論について自己の発達と照らし合わせて復習しておく	【事前事後学修時間（分）】 60	
第4回	【授業計画】 発達段階と発達課題② 身体的機能の成長・発達		
	【事前事後学修の内容】 自分の成長と発達についてワークシートにまとめておく	【事前事後学修時間（分）】 60	
第5回	【授業計画】 発達段階と発達課題③　心理的・社会的機能の発達		
	【事前事後学修の内容】 「高齢者の生活史」についてインタビューを行いレポートに取り組む	【事前事後学修時間（分）】 180	

第6回	【授業計画】 各発達段階における特徴的な疾病と障害①	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	乳児期・学童期 乳児期・学童期に多い疾病と障害について予習する	60
第7回	【授業計画】 各発達段階における特徴的な疾病と障害②	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	思春期・青年期に多い疾病と障害について予習する	60
第8回	【授業計画】 各発達段階における特徴的な疾病と障害③ 成人期	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	生活習慣病について予習する	60
第9回	【授業計画】 老年期の特徴と発達課題① 老いの価値観・受容	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	老年期の定義、老年期の発達課題についてまとめる	90
第10回	【授業計画】 老年期の特徴と発達課題② 老年期の発達課題	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	ハヴィガーストの老年期の発達課題について予習する	90
第11回	【授業計画】 老年期の特徴と発達課題③ 老化が及ぼす心理的影響と生活（事例検討）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	老化が及ぼす心理的影響についてまとめる	120
第12回	【授業計画】 老年期の特徴と発達課題④ 高齢者のこころの問題と精神障害。要介護による高齢者の心理についてワーク。	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	高齢者のこころの問題と精神障害について予習する	90
第13回	【授業計画】 老年期の特徴と発達課題⑤ 高齢者の生活史の理解、レポートをもとにグループ討議	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	「高齢者の生活史」についてインタビューをまとめる150	150
第14回	【授業計画】 老年期を取り巻く課題、社会的理解	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	最近の高齢者に関する社会問題について切り抜き記事をまとめる	60
第15回	【授業計画】 高齢者を取り巻く健康上の課題（発表）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	最近の高齢者に関する健康課題について切り抜き記事をまとめる	60

履修に必要な予備知識や技能	「生活とこころとからだ」「こころとからだのしくみ」を履修し、授業に臨んでください。
課題に対してのフィードバック	授業後に感想や質問を受け付け、回答や周知が必要なものは次回に行います。 提出課題は、コメントとともに次回以降に返却します。
評価方法・基準	定期試験80%　課題の取り組み10%　授業への参加度10%
教科書	最新介護福祉士養成講座12「発達と老化の理解」中央法規出版．参考書は授業内に適宜紹介します。

備考	介護福祉士養成における必修科目です。介護福祉士資格取得を目指す人は必ず受講してください。 この科目は、介護福祉士養成課程に必要な科目のためシラバスの変更でできません。
実務経験の内容・期間	介護福祉士（5年2か月）